

除雪にご協力ください

冬を乗り切るために



冬期の道路交通を確保するため、除雪作業を行います。作業を安全かつスムーズに進めるためには、皆さんの協力が必要不可欠です。

問い合わせ 道路維持課（南町南6線46、道路車両センター内、☎48・2322）

除雪車の出動をお知らせします

▼QRコードで簡単アクセス




市フェイスブック
市ツイッター

広報

おびひろ

Public Information OBIHIRO

令和元年
(2019年)
No.1147
December **12**

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

10月末の人口と世帯数

人口▶166,187人 (前月比-88人)
男▶79,285人
女▶86,902人
世帯▶88,263世帯 (前月比+38世帯)

10月の火災発生件数

2件 (前月比-2件)

10月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,555t (前年同月比-18t)
資源ごみ(Sの日)量 630t (前年同月比+21t)

今月の紙面

**パブリックコメント
市民意見提出制度 …10**



各計画などの策定に当たり、市民の皆さんから意見を募集します。計画（原案）および募集要領は、各コミセンや担当課の窓口、市ホームページで公開します。

市長への手紙

まちづくりに皆さんの声を生かします。市政に関するご意見、ご要望などをお寄せください。



帯広市の広聴



出動の目安は10センチから

除雪車の出動は、10～15センチの積雪を目安に、天候の状況や予報などを考慮して判断します。

そのため、10センチを超えるような降雪があっても、積雪状況によっては除雪作業を行わないときがあります。（次頁の除雪作業スケジュールを参照）

約1800キロメートルを除雪

市が除雪する車道の距離は約1300キロメートル、歩道を合わせると約1800キロメートルあります。幹線道路や生活道路など、道路の区分に応じて合計約260台の除雪車で作業を行います。作業を安全かつスムーズに進めるため、ご協力をお願いします。

除雪作業は夜間から早朝まで

除雪作業は、通勤・通学に支障がないように、夜間から早朝（夜8時～朝6時が基本）に行います。日中は交通量が多く、事故につながる恐れがあるため、大雪で交通障害が起こるような場合を除き、作業は行いません。ただし、雪の量が多いときや雪が夜通し降り続くようなときは、朝6時を過ぎても作業を続けることがあります。

雪捨て場をご利用ください

除排雪で出た雪を無料で持ち込めます。
開設期間 令和2年3月31日(火)まで



図 雪捨て場の位置

- 西18条** (千勝川河川敷)
雪捨て場、十勝川浄化センター
西18条北2丁目
- 幕別町依田**
雪捨て場
依田、清柳大橋
- 大正** (札内川河川敷)
雪捨て場、太陽園
札内川、第二大川橋

除雪作業時のお願い

- 路上駐車をしていない
- 生活道路沿いにお住まいの人へ
- 除雪車には近づかない
- 雪を道路や川に捨てないで
- 事故にご注意を
- 不要不急の問い合わせは日中に
- 道路に物を置かない
- 雪を道路や川に捨てないで

路上駐車している車両があると、作業を十分に行うことができません。近隣住民の迷惑になります。

道路に乗り上げ（段差解消）ブロックなどがあると、作業の妨げや、除雪車の故障につながります。

除雪車の周囲は運転手から見えにくく、大変危険です。

除雪作業中に問い合わせが集中すると、作業の遅れにつながります。不要不急の問い合わせは、日中をお願いします。

除雪作業中の屋根からの落雪、屋根の雪下ろし中の転落、除雪機による事故に注意してください。

雪を道路や川に捨てることは、危険なのでやめてください。除排雪で出た雪は、指定の雪捨て場を利用してください。（図）

町内会向け「パトナーシップ除雪事業補助」をご利用ください

「パトナーシップ除雪事業補助」は、地域の皆さんと市が協力して除雪を行うための制度です。町内会単位で申請できます。各種申請方法など、詳細は道路維持課へ問い合わせください。

① 小型除雪機購入

小型除雪機（融雪）機を購入するとき、費用の半額を補助。（上限22万円）

② 小型除雪機借り上げ

小型除雪機を借りて除雪をするとき、費用の半額を補助。（上限4万8000円）

③ パトナーシップ排雪

排雪時の費用の半額を補助。（1キロメートル当たり上限38万円）

④ 町内空き地利用

地域の雪捨て場として町内の空き地を利用するとき、費用の半額を補助。（上限2万円）

「小型除雪機貸出制度」を活用しませんか

町内会で地域の除雪活動をするとき、手押し式の除雪機を貸し出し。申請方法など、詳細は道路維持課へ。

貸出期間 2週間以内（原則、1シーズン1回）

使用料 無料（燃料代と保険料は別途）



○使用例

- ・狭くなった生活道路の除雪
- ・高齢者や障害者宅周辺の除雪

○利用者の声

- ・独り暮らしの高齢者宅周辺を除雪し、大変助かったと言われた。
- ・学校前のバス停周辺を除雪し、バス利用者から喜ばれた。

よくある除雪の意見・質問

例年、除雪に関する意見が多く寄せられます。特に多い意見と、市の考え方を紹介します。

生活道路が除雪されていない

生活道路の除雪は、雪を道路の両側に振り分ける作業のため、除雪するたびに道路幅が狭くなってしまう。

そのため、圧雪されて車が通行できる路面の状況であれば、10センチを超えるような降雪があっても、生活道路の除雪は行わないことがあります。

除雪されたのに雪が残っている

生活道路はマンホールなどによる凹凸があるため、路面ぎりぎりまで除雪できないことがあります。除雪の仕上がりには差がある

車が通行できるように除雪して



いますが、路面の状況や作業の仕方によって、仕上がりに差があることがあります。

作業後にパトロールを行い、仕上がりが良くない場所がある場合は手直ししています。

雪が道路の片側に寄っている

できる限り左右均等に除雪していますが、生活道路には雪の置き場所が少ないため、道路によって片側に寄せざるを得ないことがあります。

もっと早く除雪してほしい

約20センチの積雪を、10時間から12時間で除雪する体制を組んでおり、すべての道路を効率よく除雪するため、事前に決めた順序を変えることはできません。30センチを超えるような大雪のときは、少なくとも2回は除雪しなければならぬ場合もあります。積雪量が多いほど作業に時間を要するもので、ご理解とご協力をお願いします。

雪山で見通しが悪く危険だ

雪山の除去は、主に幹線道路の交差点で行っており、生活道路の排雪は行っていません。通学路などで特に危険な場所がある場合は、雪山を低くする作業を行います。



除雪体制を強化してほしい

除雪車と運転手の数が減ってきていて、確保が難しくなっています。現在の体制維持に努め、効率よく除雪を行っていきます。

路面が滑るので砂をまいてほしい

砂まき作業は、主に幹線道路の交差点で行っています。

生活道路で滑りやすい場所には、市内4カ所で滑り止め用の焼き砂を配布しているので、ご利用ください。（折り込みチラシを参照）

大雪の恐れがあるときは

帯広市でも、過去に大雪で車の立ち往生や事故が起きました。大雪の恐れがあると予想される場合には、なるべく外出を控え、やむを得ず外出するときは、早めの帰宅を心掛けてください。

除雪作業スケジュール

1 気象予報確認・パトロール

～夜7時

出動の目安は
降雪10～15センチ
天気予報などを総合的に
考慮して判断します。



！ こんなときは除雪を行わない場合もあります

- ・明け方からの急な降雪で、除雪作業が朝の通勤・通学の混雑時間に重なると思われるとき
- ・降った雪がすぐに溶けると思われるとき
- ・降った雪がすっかり踏み固まっているとき
- ・地吹雪による視界不良などで、作業の安全が確保できないとき

2 作業計画・出動準備

夜7時～夜8時



主に除雪ができる時間帯は
夜間から早朝の
10時間

3 除雪作業

夜8時～朝6時

除雪作業は「時間との闘い」

市が除雪する道路は、歩道も合わせると約1800キロメートル！（帯広市から鹿児島県屋久島までの距離）この距離を夜間から早朝の10時間で除雪しなければなりません。



間口は各家庭で
除雪してください

生活道路は雪を道路の両側に振り分ける除雪を行います。玄関先や車の出入口に残った雪の処理にご協力ください。

